

2006年度 東京大学 学術俯瞰講義
社会の形成—人間はいかに共生してきたか—

権力と自由の生態について

第4回 政治権力と境界線
～主権国家をめぐる～

佐々木 毅

本講義資料内の著作物の再使用、二次的著作物の創作などについては、
著作権者より直接承諾を得る必要があります。

政治権力と境界線 ～主権国家をめぐる～

1. 政治権力と境界線
2. 主権国家と国際関係
3. ポスト主権国家の時代へ？

1.1 境界線の流動性

- 事実上の流動性
- 権利上の流動性
- 境界線をめぐる争い

1.2 主権概念の登場

- 国家と他の団体との峻別
- 国家の対外的独立性
- 国家の対内的自己決定権

1.3 主権概念の変容

- 君主主権から人民主権へ
- 政治参加と境界線
- 人民と民族～nation stateの誕生

2.1 主権国家と戦争

- 総力戦と動員体制
- 国家権力の伸長
- 参加要求の高まり

2.2 主権国家と国際経済

- 自由貿易体制
- 国際金融市場
- 主権国家の限界？

2.3 主権国家と国際機関

- 国際関係のルール化
- 主権の絶対性の制限
- 国際的裁き

3.1 ポスト主権国家の時代へ？

- 冷戦と軍事力の集中管理
- 軍事技術革命とアメリカの優位
- 「正戦」論の復活
- 戦争と警察行動へ

3.2 経済のグローバル化と民主主義

- 国家は国民生活を守れるか
- 「国民経済」の解体
- 政府からの権力の流出
- 財政から金融へ

3.3 「帝国」の時代へ？

- 帝国主義の終わり
- 不平等な国際的な体制の成立
- ハードパワー(経済力と軍事力)による統治
- ソフトパワーの威力